

理論踏まえ、成長の連鎖生み出す

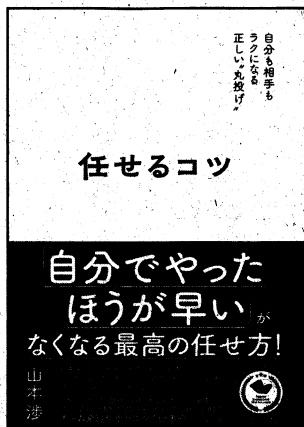


リーダーのためのメディアガイド

片山

敏郎

新潟市立大野小学校校長
(中央教育審議会臨時委員)



任せるコツ
自分でやったほうが早い
なくなる最高の任せ方!
山本 渉

任せるコツ 自らも相手もラクに「丸投げ」

山本 渉 著
すばる舎 2023年

任せることは難しい。い込んだ。しかし著者は、「相手」が駄目とはよくいわれることだ。私も、ビジョンを実現するために、担当を信じて任せようと思いつきながら、つい要らぬ口を出してしまい、モチベーションを下げてしまふ失敗を何度もしてきた。

とりわけ、「丸投げ」という言葉には、自分ネガティブな印象が強く、最も悪いマネジメンの代表であるように思

た。第1章「どう頼むか」にはコツがある、第2章「誰に頼むか」ですべてが決まる「では、頼む相手や頼み方の注意点が、例とともに具体的に述べられている。

言われてみれば当たり前前のことながら、実はやれていないことがたくさんあることに気がたかされる。

また、理論に基づいた例も豊富で、納得させられた。

第4章「時代に合った任せ方」も考えさせられた。「健全な『任せ方』とZ世代のマネジメン」では、労務管理と健康管理の大切さが改めて語られる。

また、多様性を尊重する世代におけるマネジメンの在り方という視点から、サーバント・リーダーシップやインクルーシブ・リーダーシップの大切さもスムーズに理解できた。

後半では、丸投げと育成の関係についても語られていく。

第6章「育成の真髓」では、「アシストッドスプリント法」など、複数の理論に基づいた育成の考え方が述べられる。

仕事を任せることは、その先にある人材育成を見通すことが大切である。そのためのこれまで知らなかった方法を学べることができた。

特に、教育現場で即実践可能な「成長ループ『まみむめも』任せ方、見守る、報いる、目指す、目的提示」のループは、すくなくても使える具体的な方法だ。

このように本書は、教育関係の管理職が抱える「仕事の分担」や「部下育成」の悩みに直球で応えてくれる一冊である。

本欄の読者は、校長や副校長・教頭など、教育における管理的な役割を果たしている方が多いだろう。

そのような方々にぜひ手に取っていただきたい。

著者が言うように「任せること」で成長の連鎖をつくり出す「ことに私も挑戦していきたいと思

う。

ご一読を勧めたい。